

目的・目標

本事業の目的は、本学大学院修士課程に新コースを設立し、音楽クリエイターの育成をおこなうことである。新たに設置する附属クリエイタースクールにおける早期教育から高等学校レベルまでの育成と既存の学部レベルの育成とをあわせて一貫した人材育成を行う。

概要

本プロジェクトでは、音楽クリエイターの高度専門人材を育成するために、①楽曲制作・演奏・法令・マネジメント等のスキルの明確化、②国内外の連携による市場アクセス拡大、③法令法務の理解、④質保証体制の確立を目指す。

(区分・分野)

・音楽

(対象となる職種)

・音楽クリエイター、ミュージシャン

(育成人数)

・15名/3年(大学院修士課程新コース)

3年目までの取組

- 大学院 修士課程 音楽芸術表現専攻にポップ&ロックミュージックコースとサウンドプロデュースコースを設置
- クリエイティブ人材育成推進室を設置
- 附属クリエイタースクールを設置 (川崎市麻生区)、運営
- 法令実務・労働環境向上のためのセミナーを実施
- 海外のクリエイターの招へい、海外研修の実施
- 令和9年度に取り組みの点検評価を行う

5年目までの取組

- 大学院 修士課程 音楽芸術表現専攻ポップ&ロックミュージックコース・サウンドプロデュースコースより修了生を輩出
- 本プログラム参加者によるプレゼンテーションを行う
- まとめのシンポジウムを行うなど、プログラムの恒常化の準備



附属クリエイタースクール WEBサイト  
<https://event.tosei-showa-music.ac.jp/creatorschool/>

成果目標 (見込)	目標値
国際的な活躍に必要なスキル習得のために開発・実証された育成プログラムの数	3年目: 2件 5年目: 2件
国内外の教育機関・専門機関・企業・団体等との連携数	3年目: 10件 5年目: 12件
育成プログラムの参加者が世界的に認知されている海外の芸術祭・文化施設・大学等の教育機関への参画や招へいを受けた件数	3年目: 1件 5年目: 10件
育成プログラムの実証に参加した人数	3年目: 65人 5年目: 315人

中核となる指導者等



白船 睦洋 教授  
演奏家



益田 トッシュ 准教授  
音楽プロデューサー



由雄 正恒 准教授  
作曲家、音楽クリエイター

国際的な場での実践の取組例

- PBL型の演習授業における海外教育機関やクリエイターとの連携・インターネットを活用した共同制作
- WEBサイトにおける作品等のアーカイブの公開
- 海外のクリエイターの招へい、海外研修の実施
- FACP 国際会議での育成プログラム参加者による成果発表 (大学院新コース在籍者等)

# 体制図

## 音楽クリエイティブ人材の育成プログラム・ネットワーク

